

北海道支局

△住所：札幌市白石区南郷通18南1-17・サニープレイス南郷18-303  
△電話：011（557）9988番 △ファクス：011（577）5999

七

## グリーン経営推進セミナーを開催

## 北ト協と札ト協

【北海道】北ト協と札ト協は11月22日、「グリーン経営推進セミナー」を開いた。交通工口モ財団交通環境対策部長の加藤信次氏が、グリーン経営の制度概要や取得に向けた取り組みのポイントなどを説明。「企業は、ただ利益をあげただけでは済まなくなってきたおり、環境問題への対応も経営の重要な要素。中小企業がどのように環境に取り組んだらいいのかを考える際に、環境ISOでは手間がかかり、「コストも高いのが実態」と述べ、取得事業者は全国平均より29%も燃費水準が高いと取得のメリットを説明した。

**【北海道】北ト協と札ト協は11月22日「グリーン経営推進セミナー」を開いた。**

**運輸局で**  
認証の登録事業所は  
10月末の時点では50000  
事業所にのぼり、登  
録事業所が保有する車  
両台数は15万1300台  
になる。車両べ一  
台では全事業者の車両  
有台数の12・5%にな  
るのぼっており、8万台  
1台がグリーン経営を  
取得している計算とな  
る。

は「荷主や元請けがグリーン経営を取つているところを優先して使うことが減多になつたため、取得するメリットを感じる事業者が少ないのでではないか。決して、道内の事業者の環境への意識が低いと云うわけではないと困らう」と指摘する。

ンペーんも  
な情報提供を行つてい  
る。

している。ト協職は「グリーン経営認定などの取得推進に向けて、運輸局の取り組みは非常に有り難い」としており、今後の取率アップに期待を寄せている。

一方、グリーン経営を取得している札幌市の事業者は「道内の運送会社は、『周りがまだグリーン経営を取りっていないからかわからない』と内弁慶になってしまっていません」のではな

いにまをめ運市富 せ得とみけ証貞

【北海道】北ト協と札ト協は11月22日「グリーン経営推進セミナー」を開いた。交通工コモ財團交通環境対策部長の加藤信次氏が、グリーン経営の制度概要や取得に向けた取り組みのポイントなどを説明。「企業は、ただ利益をあげただけでは済まなくなってきた」おり、環境問題への対応も経営の重要な要素。中小企業がどのように環境に取り組んだらいいのかを考える際に、環境ISCCでは手間がかかり、「コストも高いのが実態グリーン経営認証は由小でも取り組みやすい」と述べ、取得事業者は全国平均より29.7%も燃費水準が高ハと取得のメリットを説明した。

認証の登録事業所は  
10月末の時点では5000  
事業所にのぼり、登  
録事業所が保有する車  
両数は15万1316台に  
なる。車両べつで  
では全事業者の車両  
有台数の12・5%にた  
のぼっており、8台に  
1台がグリーン経営を  
取得している計算と  
なる。

## 運輸局で

### 進まない普及

は「荷主や元請けがグリーン経営を取つているところを優先して使うことが滅多にならないのではないか。迫りため、取得するメリットを感じる事業者が少ないのではないか」と指摘する。北海道運輸局では、年3月から、全国初の「優良事業者等利用促進キャンペーン」を始め、全道179市町村同教育委員会、経済団体などの団体に対し、グリーン経営認証などを取得した優良事業者の積極的な活用を呼びかける文書を送ったほか、同局HP上でも「優良事業者をもつと利用しましよう!」とすばらしく、北から南へと並んで登場する。

な情報提供を行っていく。  
積極的に選択を  
グリーン経営GMア  
クなびの取得が、いわ  
ば行政お墨付きの「優  
良事業者」とされた格  
好となり、周知だけで  
はなく、一歩進んで積  
極的に選択するよう促  
す。

している。ト協職は「グリーン経営認定などの取得推進に向けて、運輸局の取り組みは非常に有り難い」しておらず、今後の取組率アップに期待を寄せており、内弁慶は『一方、グリーン経営を取得している札幌市の事業者は「道内の運送会社は、『周りがあまりグリーン経営を取りっていないからかわからない』と内弁慶になつていいのではなか。首都圏などの事業者と交流するといふゆる『しかし』かりしたべ社』の多くはグリーン経営や環境ISOを得している。このよ

うな会社と接する刺激が少ないので、安心していいのではないか。これは道内運送業界の『空気』なので、簡単に取得する会社が増えない「なぜな」を見てくる。(平島雅基)